

私たちの留学体験記

短期語学研修に参加して

国際コミュニケーション学部3年
鍋本 彩

今日、英語が共通言語として世界中で使用されていることは大変興味深いことです。私は大学に入ってからその世界の共通語としての英語を深く研究したいと思い、これまでの2年半勉強に取り組んできました。

そして今回イギリスで1ヶ月実際に暮らしてみても学んだことは、「積極性」の大切さです。思ったことを口に出すことは勇気が要りますし、なおさら母語ではないと微妙なニュアンスも伝わり難くなり、お互いの意思疎通は簡単ではありません。しかし、「積極性」を持つことは、コミュニケーションを円滑にする近道なのです。

ホームステイ初日に、日本のお土産を持っていったことをきっかけに日本の文化や習慣を英語で伝えました。その時相手が興味を示してくれたことがとても嬉しく、つたない英語で話が伝わることの喜びを感じました。また、私はイギリスのことはおろか、自国のことさえ英語でうまく話せないのだと気付くことができ、勉強の意欲向上にも火が付きました。そして私はホストマザーと話すことが一番良い勉強法だと気付き、1か月間彼女との会話に没頭しました。お互いに料理が趣味だったので毎日夕食とデザートと一緒に作り、彼女の英語を真似て、寝る前には料理についての単語などを勉強し続けていると、最後にはお互い冗談を言い合えるほ

ど会話がスムーズになりました。このように私は自分の時間よりもホストマザーと過ごす時間を優先し、それによって私には今、ホストマザーから教わった生きた英語が根付いています。



外国語でコミュニケーションを取ることは簡単ではないし、躊躇することも当たり前ですが、私はそれを乗り越える努力をすればそこから英語能力が伸びる可能性は十分にある、ということ学びました。この体験はこれからの私の勉強の糧になるだろうと確信しています。そしてこの経験を通して生まれた発見は、残る1年半の大学生活の過ごし方を決める鍵になったと思っています。この貴重な体験をすることができた周りのすべての人への感謝を忘れずに、これからも努力を続けたいと思います。

ドイツ留学体験記

国際コミュニケーション学部4年
横井仁美

私は、2年次に1年間、ブレーメン州立経済工科大学に留学しました。初めの頃は、まだドイツ語が全く話せず分からなかったのですが、パン

一つ買うのも一苦勞でした。毎日、些細な事をするのにも、少々不安を感じたり、ドキドキしていました。大学に通って生活に慣れていくにつれ、私もドイツ人の友達ができました。授業後に美味しい飲食店に連れて行ってもらったり、休日に一緒にスポーツをしたりしました。遊びながらドイツ語やドイツの文化を教えてもらったりするなど、「遊ぶ中で学び、遊ぶために勉強する」という、学ぶ楽しさを留学中は



つも感じていました。ドイツ人との授業では、初めてのことが多くて戸惑うこともありました。一生懸命、自分なりに切磋琢磨することができました。学生の発言も多く、授業に対するドイツ人の姿勢も強く感じました。そして語学の授業では、さまざまな国から来た留学生と一緒にドイツ語を学びました。できる、できないは関係なく、どの留学生も個々によく発言して、授業中はとても活気に溢れていました。皆、和気あいあいとしていて楽しかったです。

また、留学中は自分の周りから沢山の助けがありました。生活や語学に悩んでいる時にはドイツ人の友達や他の日本人留学生が助けてくれました。家族も遠く日本から私を支えてくれました。できないならできないなりに、自分だけでどうにかしようと悩まずに、苦しい時は苦しいと助けを求める事の大切さを深く学んだ年でもあります。そして、多くの方から沢山の事を教えていただきました。また勉強に対する姿勢や考え方など、さまざまな点で良い刺激を受け

たと思います。留学中に得たこの刺激と友達はただ留学中だけでなく、今でも自分にとってかけがえのない大切なものです。

楽しい時や辛い時、日本との文化の違いに驚く時など、思い出深い1年でした。

1年間多忙でしたが、悔いを残すことなく、楽しくて充実した留学期生活を過ごせました。

フランス留学

留学前の準備と現地での生活

文学部3年 堀田泰治

私の留学のきっかけは、国際交流センター主催の留学生歓迎パーティーでの出会いだっただけです。そこには様々な国の協定留学生が来ていた。私は将来的に、漠然と国際NPO等に携わりたいと考えていたため、国際公用語としての英語・仏語に興味があったがきっかけをそれまで掴み取らずにいた。そのパーティーでフランスの留学生と仲良くなり、普段からよく遊ぶようになった。そして彼らと交流していくうち、留学を決意する。

それからは、図書館で彼らとお互いそれぞれの言語を教え合い、共に勉強をした。文法書一冊を二回解き、友人が教えてくれる単語をノートにメモし覚えた。

協定留学には、筆記・面接・会話・書類選考等の試験が課される。留学を決意した9月から約4ヶ月程度毎日勉強し、試験に臨んだ。それに合格した後も慌ただしかった。出すべき書類が多いのだ。交流センターの職員の方に教わりながら、他の留学希望者と協力して仕上げた。現地で必要なものなどは、過去の先輩のアドバイスを読んで準備するのがよいだろう。

私は、1セメスターの協定留学を行ったが、普通は一年間である。一年間でも短い、1セメスターは本当に短かった。それほど現地での